

アンネの日記 The Diary of Anne Frank (1995)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ファミリー ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1995/08/19

公開情報 東宝

【解説】

第二次大戦中、ナチズムの狂気といわれなき人種差別の中で綴られた、少女アンネ・フランクによる永遠の名著『アンネの日記』のアニメ映画化。1942年、オランダのアムステルダムにも、欧州各国に侵攻するナチスの影が迫っていた。反ユダヤ人政策が進むなか、13歳の少女アンネを含むフランク一家もナチスからの召集を受ける。だが家長オットーは、善良な異性の友人であるミープ・ヒースの事務所に一家もろとも潜伏。ミープの支援のもと、同所が営業中は物音ひとつ立てられぬ、長く辛い耐久生活を続ける。そんな中、アンネは自分の日記帳に“キティ”と命名。感受性強い年頃の自在な心の動きを記し続けた。やがてそこに、“同居人”としてファンダーソン一家と歯科医のデュッセルも参加。一ヶ所に寄り集った8人の男女は苛酷な現実の中で前向きに生き続けるが、1944年8月、ついに運命の日はやってきた……。制作はマッドハウス。監督は、劇場版『アンパンマン』シリーズや、テレビアニメ『鉄子の旅』などの同職で知られる永丘昭典が担当。作画枚数11万枚を使用し、アムステルダムに本格ロケを敢行した丁寧な体制で制作されている。全編を彩るマイケル・ノイマンの音楽も素晴らしい出来。オットー役の加藤剛を始め、草ナギ剛、坂上二郎、櫻山文枝、黒柳徹子など豪華な声の出演も特筆である。

【クレジット】

監督	永丘昭典
製作	荒木正也
企画	吉本尊則 荒木正也
製作指揮	古谷昭綱 安藤清 後藤亘 長瀬文男 大野茂
プロデューサー	丸山正雄 岩瀬輝安
原作	アンネ・フランク Anne Frank
脚色	紺野八郎 ロジャー・パルヴァース Roger Pulvers
作画監督	兼森義則
撮影監督	山口仁
撮影	斎藤敦朗 崎谷祐樹 小口修司
美術監督	池田祐二

編集	尾形治敏	
音響監督	本田保則	
音楽	マイケル・ナイマン	Michael Nyman
音楽プロデューサー	高橋憲一 又平享	
助監督	篠原俊哉 千葉大輔	
声の出演	高橋玲奈 加藤剛 櫻山文枝 田野聖子 草なぎ剛 坂上二郎 黒柳徹子 滝田裕介 平淑恵 中吉卓郎	アンネ・フランク オットー・フランク エーディット・フランク マルゴー・フランク ペーター ファンダーン ペトロネラ デュッセル ミープ クレイマン